

HIRATSUKA KYOUKAIHOU

No.287

平塚協会報

発行所：公益社団法人 神奈川労務安全衛生協会 平塚支部
発行責任者：高橋 茂雄

令和8年度 第77回全国労働衛生週間を迎えて

平塚労働基準監督署長 後藤 忠行



神奈川労務安全衛生協会平塚支部会員の皆様におかれましては、日ごろから労働者の健康確保に格別の御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、今年の全国労働衛生週間は、「ひとりひとりが貴重な人材 心も体も健やかに みんな生き生き健康職場」をスローガンに、9月1日から同月30日までを準備期間、10月1日から同月7日までを本週間として取り組んでいるところです。

全国の労働災害による死傷者数は、平成21年に過去最少を記録して以降、増加に転じています。その原因の一つとして考えられているのが、転倒や腰痛といった、いわゆる「行動災害」で、特に高年齢期にある労働者の方が多く被災されています。

当署におけるこれらの災害の発生件数について、平成28年と令和6年を比較した場合、転倒は101件から129件へ27.7%、動作の反動、無理な動作(腰痛)は90件から116件へ17.8%の、いずれも大幅な増加となっています。

こうした「行動災害」は、その名のとおり、作業者の行動に起因するもので、設備的な対策は困難なものと思われてきました。しかし、転倒の場合、当署の上記期間中のデータでは、64.5%の方が骨折するとともに、休業見込み日数も39.7日に達しています。さらに、50歳以上の方の場合、骨折は70.7%(9.6%増)、休業見込み日数は42.3日(6.5%増)に達しています。現状の人手不足も踏まえたと、転倒災害の原因を本人の不注意としてしまうには、あまりにも大きな代償と言わざるを得ません。

厚生労働省では、生涯現役社会の実現を目指し、高年齢

労働者の安全と健康確保のための100の取組を盛り込んだチェックリスト「エイジアクション100」を作成しています。各事業場におかれましては、これを活用して職場の課題を洗い出し、改善に向けての取組を進めていただきたいと思います。

また、労働安全衛生法第62条において、事業者には、中高年齢労働者等の就労について必要な配慮するよう努力義務が課されています。厚生労働省では、「高年齢者の労働災害防止のための指針」を定め、令和8年4月から適用されています。

この指針では、安全衛生管理体制の確立や職場環境の改善、安全衛生教育に加え、高年齢労働者自身が自分の健康や体力の状況を把握するとともに、職場においてこれらの状況に応じた対応を行うよう求めています。

年齢とともに体力が徐々に低下することは避けられませんが、成人以降、定期的な体力測定を行っての方は少ないのではないかと思います。ぜひ、指針に沿って、各自が自身の体力を把握し、災害防止に役立てていただきたいと思います。

なお、厚生労働省では、中小企業向けに、高年齢労働者の労働災害防止のための設備改善のほか、専門家による体力測定等のための指導に要する費用について「エイジフレンドリー補助金」を設け、最大100万円の補助金を支給しています。

こうしたツールを活用しながら、高年齢期にある労働者にとっても、安全で健康的に働くことのできる、生涯現役社会の実現に向けてご協力をお願いします。

令和8年度 全国労働衛生週間スローガン

ひとりひとりが貴重な人材 心も体も健やかに みんな生き生き健康職場

全国労働衛生週間 平塚地区促進大会

「ひとりひとりが貴重な人材 心も体も健やかに みんな生き生き健康職場」をスローガンに、令和8年9月11日、平塚市中央公民館大ホールにおいて「第77回全国労働衛生週間平塚地区促進大会」が開催されました。

大会では、平塚労働基準監督署後藤署長の挨拶、平塚市落合市長の祝辞代読、平塚保健福祉事務所森居企画調整課長の来賓挨拶に続き、平塚労働基準監督署高松安全衛生課長より全国労働衛生週間の趣旨説明が行われました。引き続き開催された「第70回平塚地区安全衛生大会」では、安全衛生活動の推進に尽力された方々への安全衛生推進優良者表彰が行われ、平塚支部からも17名が受賞されました。受賞された皆様、誠におめでとうございます。

その後、神奈川労務安全衛生協会平塚支部鈴木支部長による大会宣言が行われ、参加者一同、安全衛生活動のさらなる推進を誓いました。特別講演では、女優でペップトーク普及協会講師の奥山佳恵氏が「生きているだけで100点満

点!」～みんながゴキゲンになれるコトバのチカラ～をテーマに講演し、前向きなコミュニケーションの重要性を学ぶ貴重な機会となりました。

大会は、建設業労働災害防止協会神奈川支部平塚分会長谷川分会長の閉会挨拶をもって盛会のうちに終了しました。

(株)KELK 川田 記



令和8年度 安全衛生推進優良者団体長表彰名簿

公益社団法人 神奈川労務安全衛生協会 平塚支部 支部長表彰 (敬称略)

事業場名	被表彰者名	事業場名	被表彰者名
日産車体 株式会社	井 上 博 文	関西ペイント 株式会社 平塚事業所	小 嶋 常 友
日産車体 株式会社	松 森 尚 人	富士フィルムワコーケミカル 株式会社 平塚工場	田 島 尚 美
横浜ゴム 株式会社 本社・平塚製造所	岸 田 昌 久	株式会社 小松製作所 湘南工場	吉 村 司
神奈川中央交通 株式会社	小 幡 清 彦	株式会社 山川機械製作所	田 村 博 俊
三興製鋼 株式会社	落 合 友 美	高周波熱錬 株式会社 湘南事業所	高 岡 徳 義
三興製鋼 株式会社	武 藤 英 一	テクノ電気工業 株式会社	石 田 和 久
三菱ケミカル 株式会社 関東事業所 平塚地区	山 中 浩 司	株式会社 KMCT 秦野工場	石 井 知 也
第一三共 株式会社 テクノロジー推進部	須 佐 健 二	秦野パイプセンター 株式会社	星 野 健 治
日産車体マニュファクチャリング 株式会社	栗 田 徹		



「自分の体と向き合うきっかけに 一健康診断の時期に思うこと」

(株)パイロットコーポレーション平塚工場 保健室 森岡 香織

10月は全国労働衛生週間が実施されるなど、自分の健康を見直すよい機会です。9月から10月にかけては、職場で健康診断が行われることも多く、自分の体について考えるきっかけが増える時期でもあります。

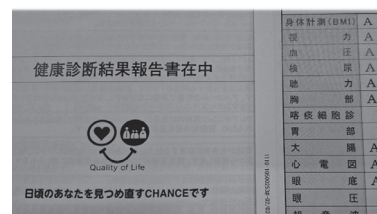
日々の業務の中で、立ち作業や細かい確認作業が続いたあと、「少し疲れやすくなった」「集中力が続かなくな」と感じる場面はないでしょうか。作業中は気にならなくても、ふとしたタイミングで体の変化に気づくことがあります。

健診の時期が近づいたり、結果を受け取ったりする中で、以前との違いを感じる事があれば、それは体からのひと

つのサインかもしれません。大きな不調でなくても、日々の積み重ねが少しずつ表れてくることがあります。

最近の生活を振り返ってみると、食事や睡眠、飲酒、喫煙、運動、忙しさなど思い当たることが見えてくることのあるのではないのでしょうか。

毎日の中にある小さな違和感に気づくことが、これからの自分の体を守る大切な一歩になるのかもしれない。



平塚労働基準監督署からののお知らせ

1. 管内の事業場が表彰されました。

事 業 場 名

①田中貴金属工業(株)平塚工場 (局長優良賞)

表彰理由(抄)

リスクアセスメントについて「平塚工場 SHE 方針」を策定し、計画的かつ継続的に取り組んでいる。作業手順書の操作単位ごとに作業リスクの抽出・評価を行っている。体力の向上と運動の実践を通じて行動災害防止に努めている。このほか、働く人の励みとなる取組を展開した結果、平成28年11月以降無災害が継続し、醸成された安全衛生水準は特に良好であり、他の模範と認められるものである。

事 業 場 名

②(株)マグネスケール伊勢原事業所 (局長奨励賞:安全確保対策)

表彰理由(抄)

リスクアセスメントについて、一定基準以上のものを「低減対象リスク」、同未満であっても内容によって「管理対象リスク」に指定している。経営トップが定期的な巡回及び「社長方針説明会」等により積極的かつ主体的に安全衛生対策に関与している。これらの取組により、平成7年7月以降無災害を継続していることは、他の模範と認められるものである。

2. 神奈川県最低賃金 改正のお知らせ

令和8年10月1日から **時間額 1,279円(54円UP)**になります。

< 注意 >

1日8時間、年間休日105日の方には、月額22万1694円以上の賃金の支払いが必要になります。

計算式:(365日-105日)×8時間÷12か月×1279円=221693.3円

最低賃金の計算の上で、精皆勤手当、通勤手当、家族手当等は算入できません。

3. 労働災害発生状況

当署の休業4日以上 の災害発生件数は、前年同期比16.1%増となっています。

労働災害発生状況(新型コロナウイルス感染症のり患によるものを除外) (令和8年7月末日現在) 暫定値

		製造業	建設業	交通運輸 事業	道路貨物 運送	陸上 貨物	港湾 運送	工業的業 種その他	小売業	社会福祉 施設	飲食店	第三次産業 その他	合計
平 塚 労働基準 監 督 署	令和8年 うち死亡災害	60	26	14	35	4	0	2	34	30	17	81	303 0
	令和7年 うち死亡災害	48 1	25	12	28 1	9	0	2	39	29	13	56 1	261 3
神 奈 川 労 働 局	令和8年 うち死亡災害	510 3	330 3	146	443 1	114	22 1	49	500 1	501	248	1,122 3	3,985 12
	令和7年 うち死亡災害	473 2	289 10	162	426 5	90	16	49 1	491 2	499	234	972 6	3,701 26



雑感

褒めて伸ばす安全の取組み

株式会社不二家平塚工場 総務人事課長

勝呂 式芳

ご安全に。日頃より支部活動において皆様には大変お世話になっております。株式会社不二家平塚工場の勝呂でございます。このたびは雑感の執筆機会をいただきましたので、私が日頃から感じている「安全の取組み方」について少しお話しさせていただきますと思います。

皆様の職場では、安全衛生の取組みに対してどのような意識や風土が形成されているのでしょうか。職場において「労働災害ゼロ」は達成されて当たり前という前提で語られることが多くあります。しかしそれゆえに、日々の安全活動が実際に労災削減へどれほど寄与しているのかが見えにくいという側面があります。

さらに、万が一労災が発生してしまうと、「安全への取組みや指導が甘かったのではないかと責められるような形になりがちです。これでは現場で働く従業員や管理者のモチベーションが維持しにくく、活動そのものが減点方式の義務感に包まれてしまいます。

私はかねてより、安全活動こそ「褒めて伸ばす」アプローチ

が不可欠ではないかと考えております。危険を未然に防ぐ行動や、小さなルールの遵守、整理整頓の徹底など、当たり前に見える日常の安全行動を積極的に評価し、声を掛け合う文化を作ることが大切です。加点方式で前向きに取り組む姿勢を認めることこそが、個々の安全意識を高め、モチベーションの向上へとつながるのではないのでしょうか。

また、安全の成果を測る指標についても見直しが必要です。単に災害発生の「件数」のみで判断するのではなく、従業員数や延べ労働時間から算出する「度数率」などの指標を用いて、定量的に推移を追っていくことが重要だと感じています。事業場の規模や稼働状況の変動に応じた実質的な推移を把握することで、取り組みの成果を客観的に検証しやすくなります。

安全は決して罰則や指導だけで守られるものではありません。従業員一人ひとりが誇りを持って安全行動を継続できるよう、称賛と客観的なデータ分析を取り入れた「褒めて伸ばす安全」の取り組みを、今後も現場の皆様とともに推進してまいりたいと思います。

『全国産業安全衛生大会』

「緑十字賞受賞おめでとうございます! -富士フィルムワコーケミカル 矢作武夫氏-」

第85回全国産業安全衛生大会が、9月16日～18日の3日間の日程で札幌で開催されました。

「大地にみなぎる 安全・健康 決意の力」をテーマに、18年ぶりの北海道札幌開催との事でした。大会初日は総合集会として表彰式や特別講演が行われ、2,3日目は分科会としてリスクアセスメント・DX・ダイバーシティなどをテーマに事業場の皆様による研究発表、安全衛生の専門家による講演・パネルディスカッション等、充実したプログラムがあり、一万人近い関係者が集まった盛大さに圧倒されました。

そして、今回テーマにあげている、富士フィルムワコーケミカル(株)平塚工場の矢作武夫氏がR8年度中央労働災害防止協会「緑十字賞」を受賞されました。

この賞は、長年にわたり我が国の産業安全または労働衛生の推進向上に尽くし、顕著な功績が認められる個人、職域グループ等に対して中央労働災害防止協会が表彰するもので、本年度は96名の方々が表彰されました。

今回の受賞は、日々の安全衛生活動や熱意をもった講師指導が認められたものです。矢作氏の益々のご活躍を祈念申し上げます。誠にありがとうございます。



株式会社KMCT 高橋 記

編集後記

夏の間、7月には震度7の熊本での地震でまたしても甚大な被害が生じました。その一方で15年前の東京での大震災、10年前の長崎での熊本地震の自らの体験が蘇りました。

8月には千葉で豪雨により大規模な冠水や車の立ち往生等が発生し、その後も台風や線状降水帯による河川の氾濫や浸水被害のニュースが続きました。

予報や警報の精度の向上、避難訓練の実施など防災への備えは進んでいますが、自然災害は私たちの想像を超える規模で発

生し続けています。「自分の身は自分で守る」が基本とされますが、一方で「一人の命も失わないために」何ができるのかを常に考えて行動したいものです。

季節は変わりこれからは秋。食欲、スポーツ、読書、紅葉、旅行など楽しみが広がる時季になりました。私もカメラ片手にぶらり旅に出かけて、綺麗な景色を眺めながらメンタルリフレッシュの時間を大切にすると共に、何が起きても焦らずに対応できる力を養っておきたいと思います。

皆さんはどのような秋を過ごされますか?

クアーズテック合同会社 安藤 記